

# 岡山県感染症週報 2012 年 第 43 週 (10 月 22 日～10 月 28 日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症警報』発令中です。

## ◆2012 年 第 43 週 (10/22～10/28) の感染症発生動向 (届出数)

### ■全数把握感染症の発生状況

第 41 週	2 類感染症	結核	1 名 (60 代 女)
	5 類感染症	ウイルス性肝炎	1 名 (50 代 女)
第 42 週	2 類感染症	結核	1 名 (20 代 男)
	5 類感染症	アメーバ赤痢	1 名 (70 代 男)
第 43 週	2 類感染症	結核	1 名 (70 代 男)
	3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2 名 (O165: 幼児 女 2 名)

### ■定点把握感染症の発生状況

- マイコプラズマ肺炎は、患者数が増加しました。
- RS ウイルス感染症は、前週より減少しましたが、過去最も多い状態がつづいています。

1. **腸管出血性大腸菌感染症**は、第 43 週は 2 名の患者発生があり、2012 年の第 1～43 週までの累計報告数は 156 名になりました。岡山県では、「**腸管出血性大腸菌感染症警報**」を県下全域に発令し、ひきつづき注意を呼びかけています。詳しい発生状況などは、岡山県感染症情報センターホームページ『[腸管出血性大腸菌感染症警報 発令中!](#)』をご覧ください。
2. **マイコプラズマ肺炎**は、患者数が増加し (5 基幹定点あたり 0.80 → 2.40 人)、2012 年の患者数としては最も多くなりました。全国では、過去 10 年の同時期と比較して最も多い状態が、2011 年 6 月から 1 年以上継続しています。発生状況や症状など、詳しくは『[今週の注目感染症](#)』をご覧ください。
3. **RS ウイルス感染症**の定点あたり患者数は、第 35 週 (8 月下旬) 以降増加がつづいていましたが、今週は減少に転じました (定点あたり 1.26 → 0.91 人)。しかし、依然として 2003 年の調査開始以降最も多い状態がつづいていますので、今後の動向に注意するとともに、感染予防に努めて下さい。
4. **風しん**は、全国統計で 10 月 15～21 日の一週間に 56 名の届出があり、2012 年の累計報告数は 10 月 24 日までに 1,889 名になりました。昨年 1 年間の累積報告 (371 名) と比較して、5.1 倍になっています。8 月以降減少傾向にありますが、依然として毎週 40 人前後が届出されています。患者は、ワクチン未接種者が多いと考えられる 20～40 代の成人男性で、この年齢層で患者全体の 61% を占めています。岡山県では、2012 年はこれまでに 20～40 代の男性 6 名の届出がありました。  
([全国風しん発生動向調査国立感染症研究 HP](#)、[岡山県感染症情報センター HP](#))

### 【お知らせ】

11 月に入り、インフルエンザの発生が懸念される時期になりました。次週 (第 44 週) から、岡山県感染症週報および岡山県感染症情報センターホームページに、『インフルエンザ情報』の掲載を開始いたします。「地区別発生状況」「ウイルス検出状況」「学校等の臨時休業施設数」「入院サーベイランス」など、県内の発生状況をお知らせします。また、岡山県感染症情報メールマガジンでは、発生状況の概要を掲載するとともに、インフルエンザ注意報・警報発令時には臨時号を発行し、より早く情報をお届けします。『インフルエンザ情報』をインフルエンザの予防と感染拡大防止にお役立てください。

◇岡山県感染症情報センター

<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/309/>

◇2012/2013 年シーズン インフルエンザ情報

<http://www.pref.okayama.jp/page/detail-101155.html>

◇岡山県感染症メールマガジン登録

<http://www.pref.okayama.jp/page/detail-97672.html>

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ			RSウイルス感染症		★★★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★
感染性胃腸炎		★★	水痘		★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★	百日咳		★
ヘルパンギーナ		★	流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎		★★	無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★★★	クラミジア肺炎		

【記号の説明】

前週からの推移： : 2倍以上の減少      : 1.1~2倍未満の減少      : 1.1未満の増減

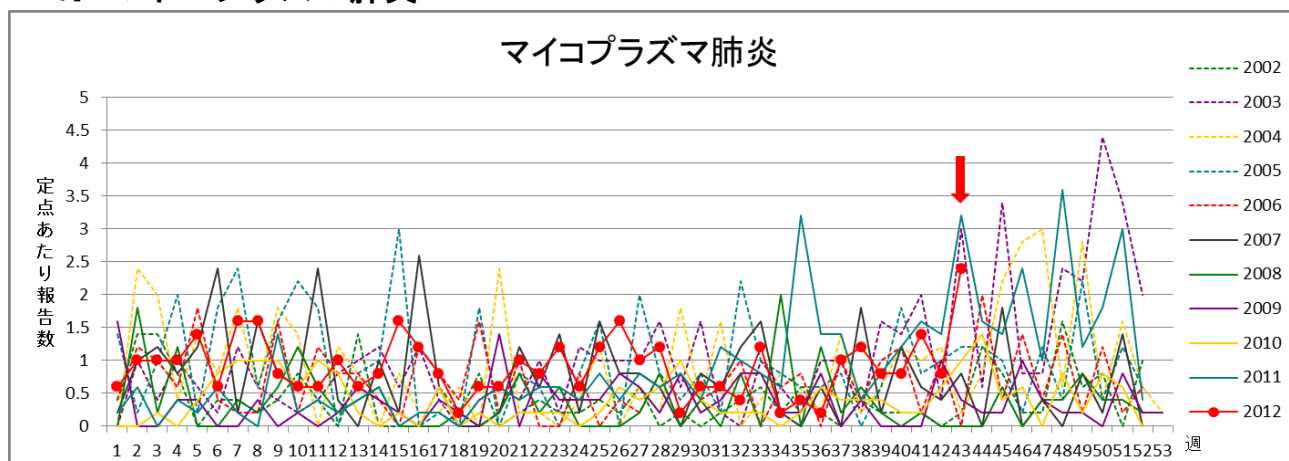
: 1.1~2倍未満の増加      : 2倍以上の増加

発生状況： 空白：発生なし   ★：僅か   ★★：少し   ★★★：やや多い   ★★★★：多い   ★★★★★：非常に多い

※今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。

# 今週の注目感染症

## 1. マイコプラズマ肺炎



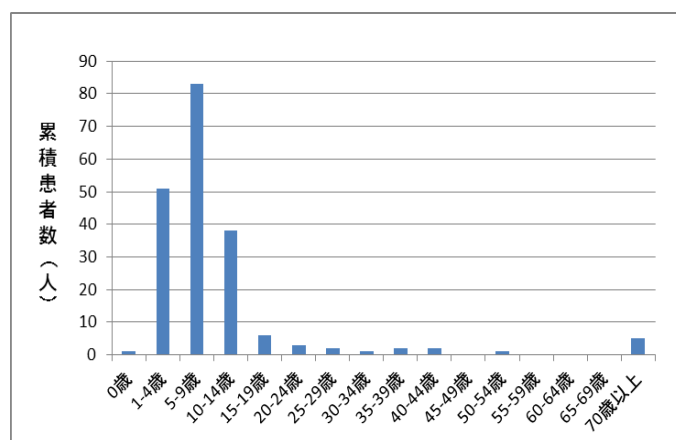
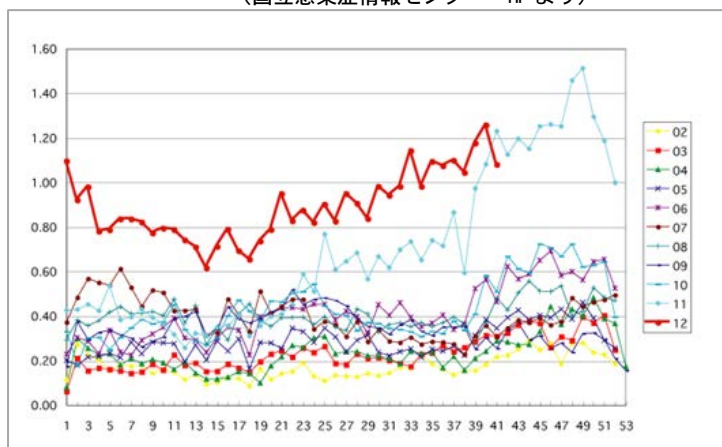
マイコプラズマ肺炎は、患者数が増加し（5 機関定ポイントあたり 0.80 → 2.40 人）、2012 年では最も患者数が多くなりました。岡山市 2 人、倉敷市 4 人、備北地域 6 人が報告されています。年齢別では、14 歳以下の小児が全体の 67%を占めています。

全国では、2011 年 6 月から、過去 10 年の同時期と比較して最も多い状態が 1 年以上にわたって継続しています。2012 年第 1～42 週の累計報告数（速報値）は 17,949 人であり、過去 10 年で最も発生が多かった 2011 年の年間累計報告数の 16,877 人をすでに上まわっています。また、患者の年齢は、1～14 歳までの小児が約 80%を占めています。

例年、秋から冬に患者が増加する傾向があり、今後の発生状況に注意して下さい。

全国 マイコプラズマ肺炎過去との比較グラフ 第 41 週  
(国立感染症情報センター HP より)

岡山県マイコプラズマ肺炎年齢別累積患者数  
(2012 年 第 1～43 週)



### 【マイコプラズマ肺炎とは】

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマという細菌を原因とする呼吸器感染症です。

潜伏期間は 2～3 週間と、インフルエンザや RS ウイルス感染症などの潜伏期間に比べて長く、初発症状は発熱、体のだるさ、頭痛などです。特徴的な症状である咳は、症状発生後 3～5 日後から始まり、乾いた咳が徐々に増強し、解熱後も 3～4 週間の長期にわたって持続します。マイコプラズマ肺炎は、比較的元気で一般状態も悪くないことが特徴であるといわれていますが、まれに重症肺炎に移行したり、髄膜炎や脳炎などを併発することがあります。また、肺炎球菌など他の細菌による細菌性肺炎は、乳幼児や 65 歳以上の高齢者に多発するのに対し、マイコプラズマ肺炎は、幼児や学童及び青年期年齢に多いのが特徴です。

### 【感染経路】

患者との濃厚な接触や、くしゃみや咳のしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる飛沫感染です。保育施設、幼稚園、学校などの閉鎖施設内や家庭などで感染します。

### 【治療と予防】

マクロライド系やテトラサイクリン系、ニューキノロン系などの抗菌薬による化学療法です。最近では、マクロライド系抗菌薬に耐性を有する耐性株が増加しつつあるといわれています。

特異的な予防法はありません。手洗い、うがいなどの一般的な予防法の励行と、患者との濃厚接触を避けることが有効です。

保健所別報告患者数 2012年 43週 (2012/10/22～2012/10/28)

2012年10月31日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	49	0.91	33	2.36	14	1.27	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.17
咽頭結膜熱	4	0.07	-	-	2	0.18	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25	0.46	4	0.29	13	1.18	-	-	-	-	-	-	-	-	8	1.33
感染性胃腸炎	259	4.80	75	5.36	62	5.64	64	6.40	17	2.43	14	3.50	5	2.50	22	3.67
水痘	43	0.80	26	1.86	8	0.73	6	0.60	1	0.14	-	-	-	-	2	0.33
手足口病	12	0.22	11	0.79	-	-	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	2	0.04	-	-	1	0.09	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	27	0.50	9	0.64	11	1.00	3	0.30	-	-	-	-	-	-	4	0.67
百日咳	1	0.02	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	10	0.19	6	0.43	-	-	2	0.20	-	-	-	-	-	-	2	0.33
流行性耳下腺炎	14	0.26	4	0.29	2	0.18	5	0.50	2	0.29	1	0.25	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	0.33	-	-	4	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	2	0.40	-	-	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	12	2.40	2	2.00	4	4.00	-	-	-	-	6	6.00	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2012年 43週 (2012/10/22～2012/10/28)

2012年10月31日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	4	0.07	-	-	2	0.18	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25	0.46	4	0.29	13	1.18	-	-	-	-	-	-	-	-	8	1.33
感染性胃腸炎	259	4.80	75	5.36	62	5.64	64	6.40	17	2.43	14	3.50	5	2.50	22	3.67
水痘	43	0.80	26	1.86	8	0.73	6	0.60	1	0.14	-	-	-	-	2	0.33
手足口病	12	0.22	11	0.79	-	-	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	2	0.04	-	-	1	0.09	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
百日咳	1	0.02	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	10	0.19	6	0.43	-	-	2	0.20	-	-	-	-	-	-	2	0.33
流行性耳下腺炎	14	0.26	4	0.29	2	0.18	5	0.50	2	0.29	1	0.25	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	0.33	-	-	4	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3  
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2 を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 ( 2012年 第43週 2012/10/22~2012/10/28 )

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~	
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~
RSウイルス感染症	49	7	19	14	3	4	-	1	-	-	1	-	-	-	-
咽頭結膜熱	4	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25	-	-	2	1	2	3	1	4	1	5	-	4	1	1
感染性胃腸炎	259	2	30	42	27	30	18	16	13	11	12	6	16	6	30
水痘	43	-	4	7	9	4	5	6	3	1	2	-	2	-	-
手足口病	12	-	-	5	6	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	2	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	27	3	12	8	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	10	-	1	2	3	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	14	-	-	-	1	1	3	2	1	2	-	1	2	-	1

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
細菌性髄膜炎	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	12	-	1	3	4	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

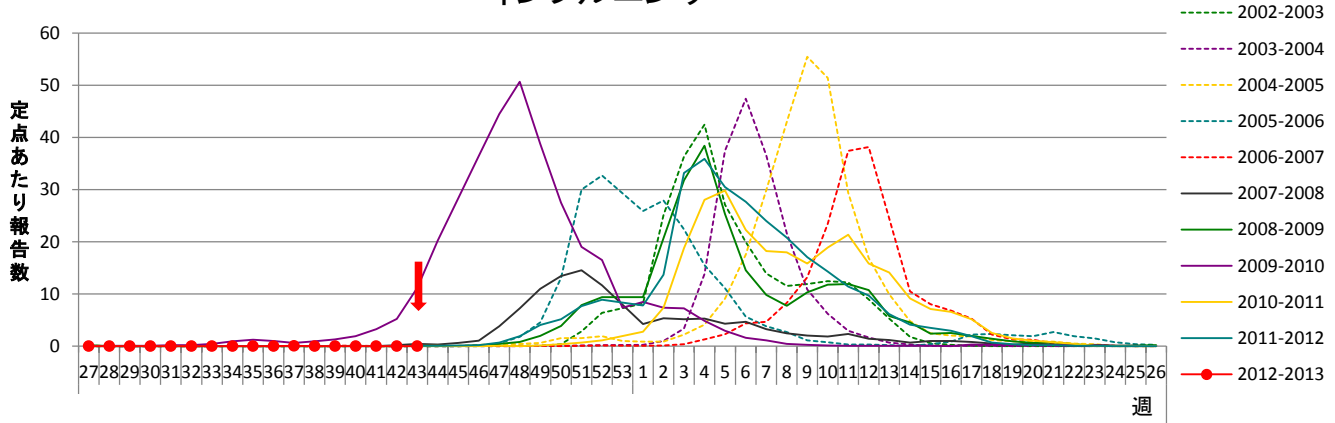
( - : 0 )

# 全数把握 感染症患者発生状況

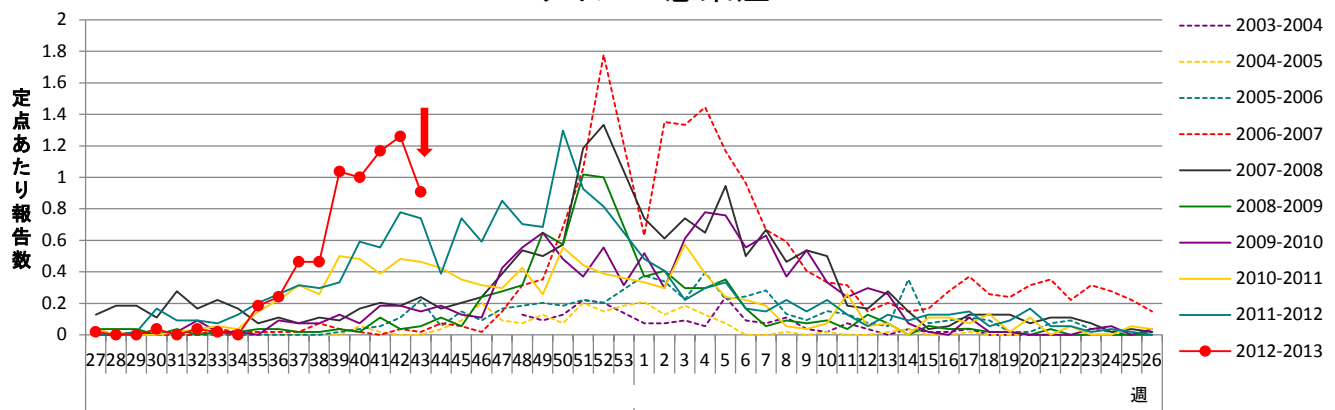
2012年 43週

分類	疾病名	2012		2011	疾病名	2012		2011	疾病名	2012		2011
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-						-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	1	369	557	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	1	腸管出血性大腸菌感染症	2	156	67
	腸チフス	-	1	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	-	1	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	2	3
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-
	つつが虫病	-	2	3	デング熱	-	1	-	東部ウマ脳炎	-	-	-
	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-
	日本紅斑熱	-	-	3	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	-	1
	マラリア	-	-	-	野兎病	-	-	-	ライム病	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-
	レジオネラ症	-	21	37	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-
五類	アメーバ赤痢	-	11	11	ウイルス性肝炎*3	-	6	9	急性脳炎*4	-	1	3
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	1	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	-	1
	後天性免疫不全症候群	-	15	15	ジアルジア症	-	2	2	髄膜炎菌性髄膜炎	-	-	-
	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	-	6	9	破傷風	-	1	3
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	2	-	風しん	-	6	1
	麻しん	-	6	4						-	-	-

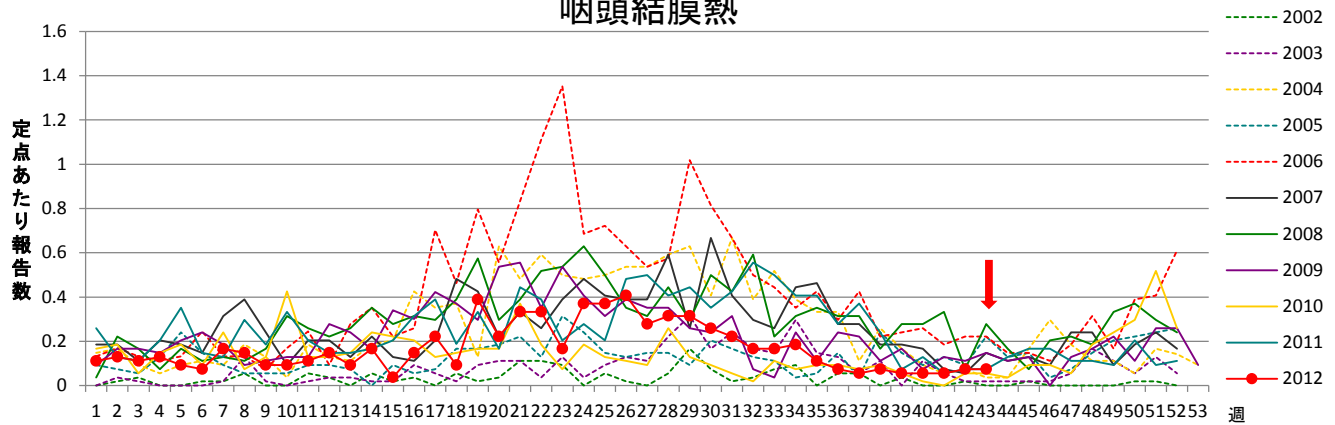
### インフルエンザ



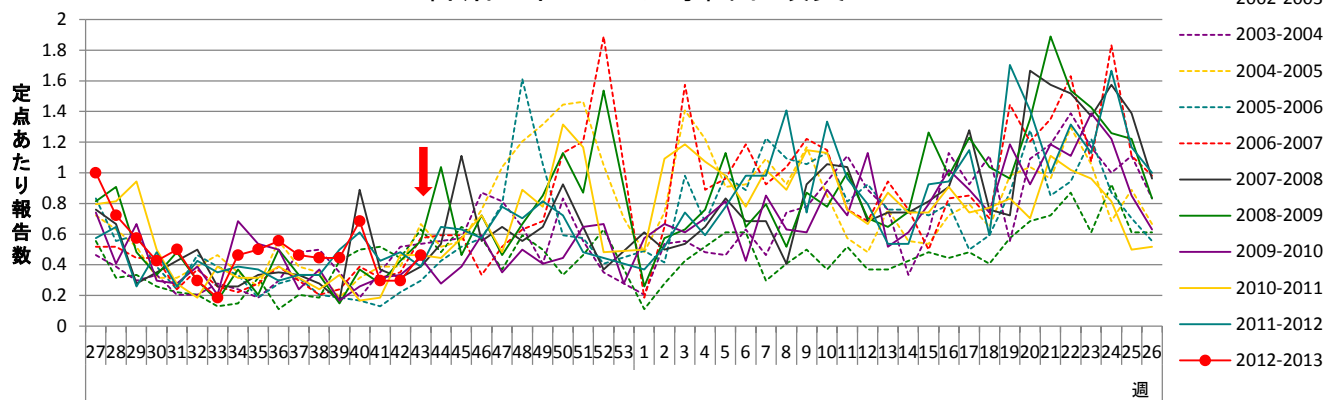
### RSウイルス感染症



### 咽頭結膜熱

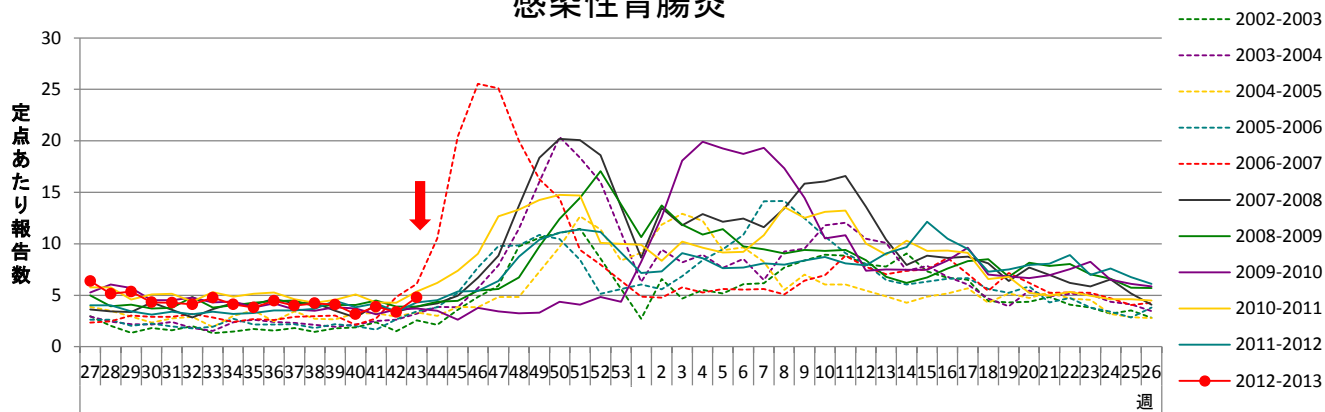


### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

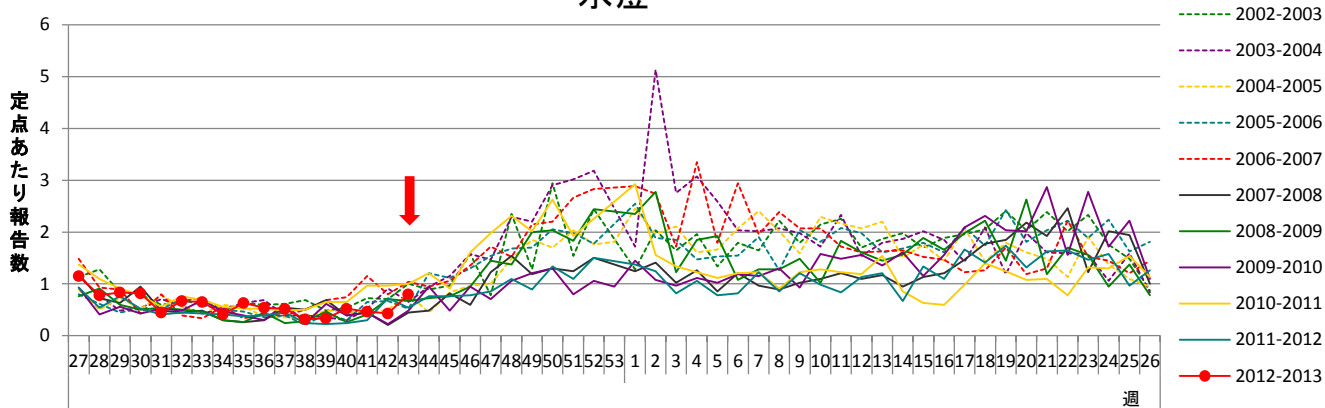




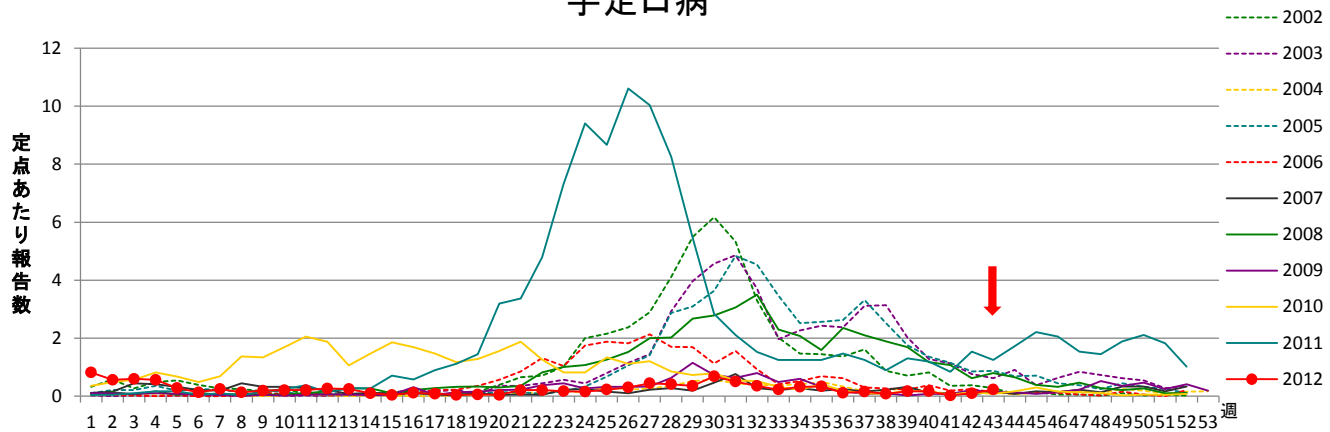
### 感染性胃腸炎



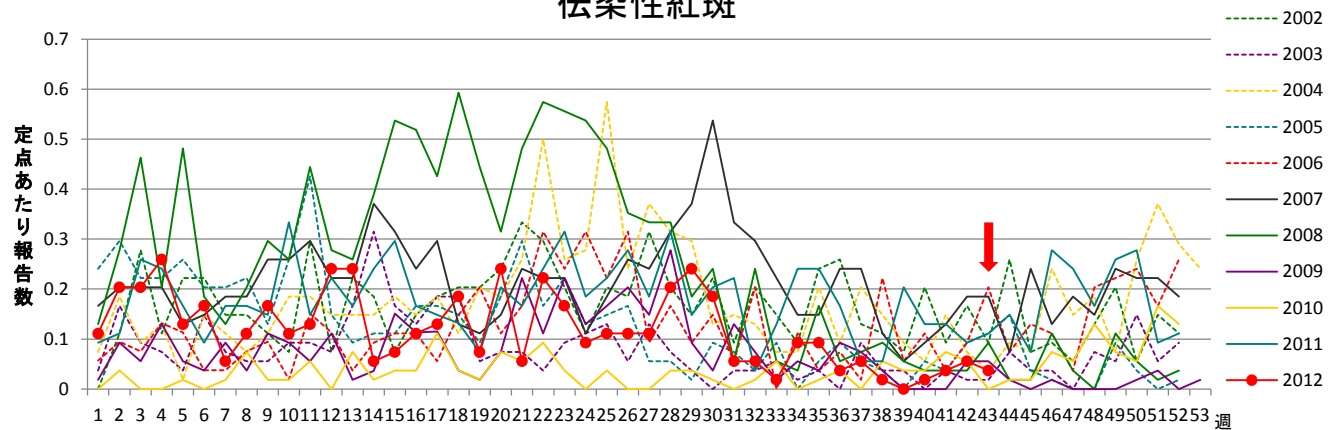
### 水痘



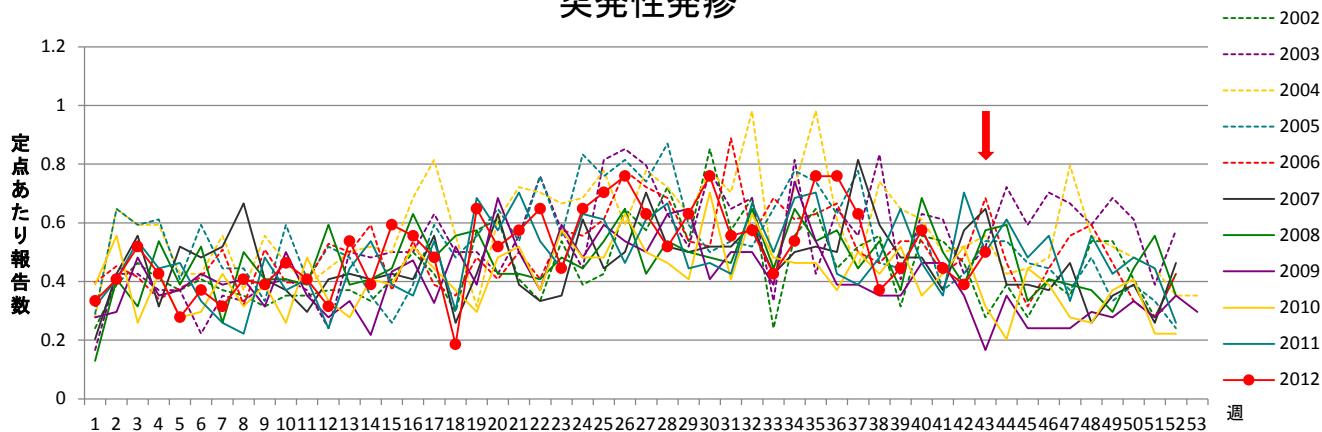
### 手足口病



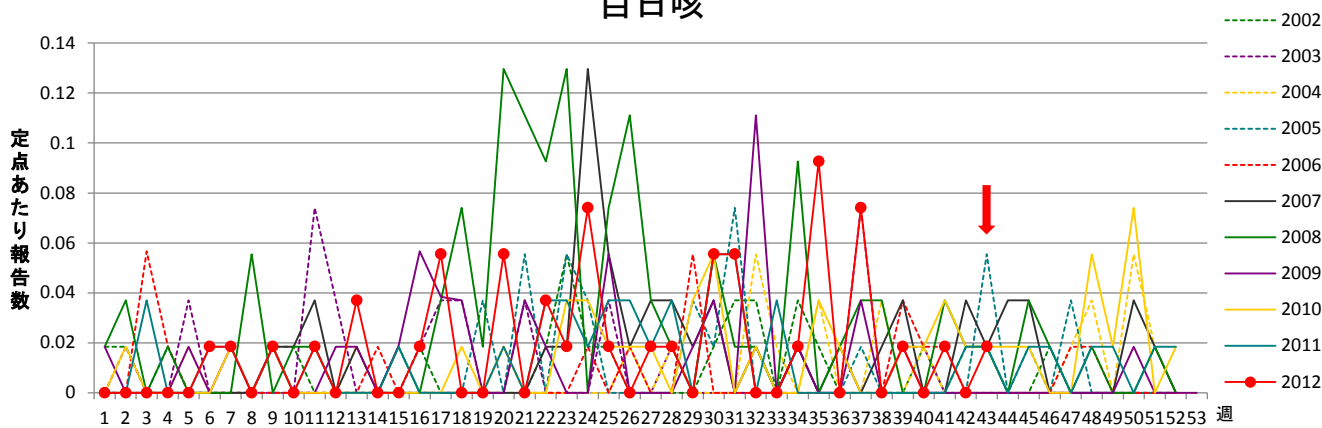
### 伝染性紅斑



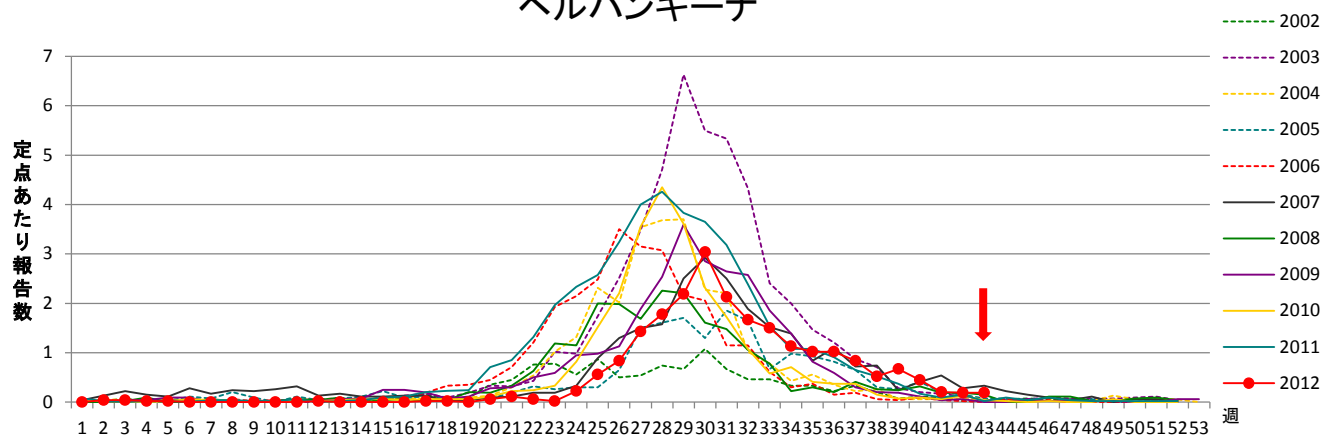
### 突発性発疹



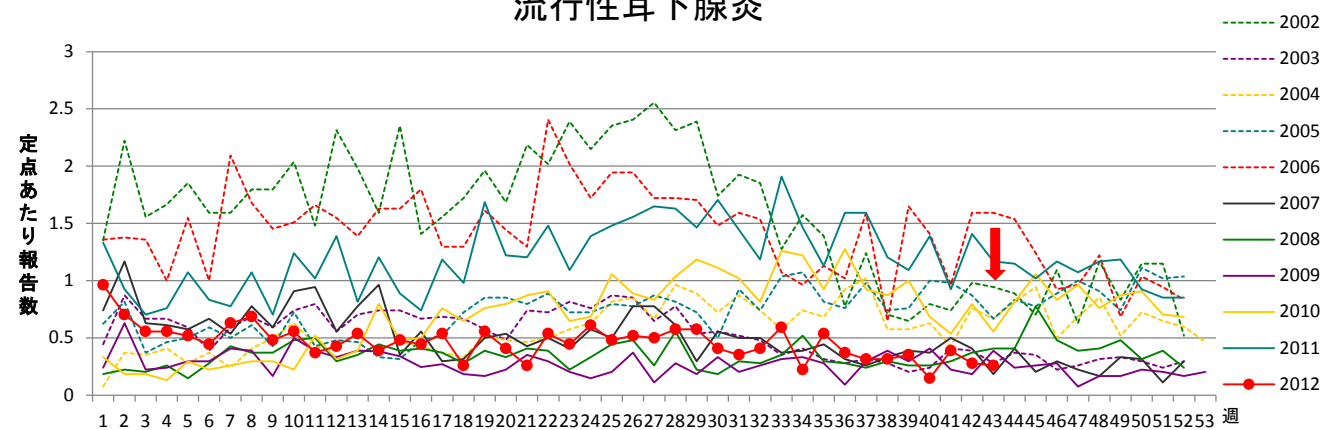
### 百日咳



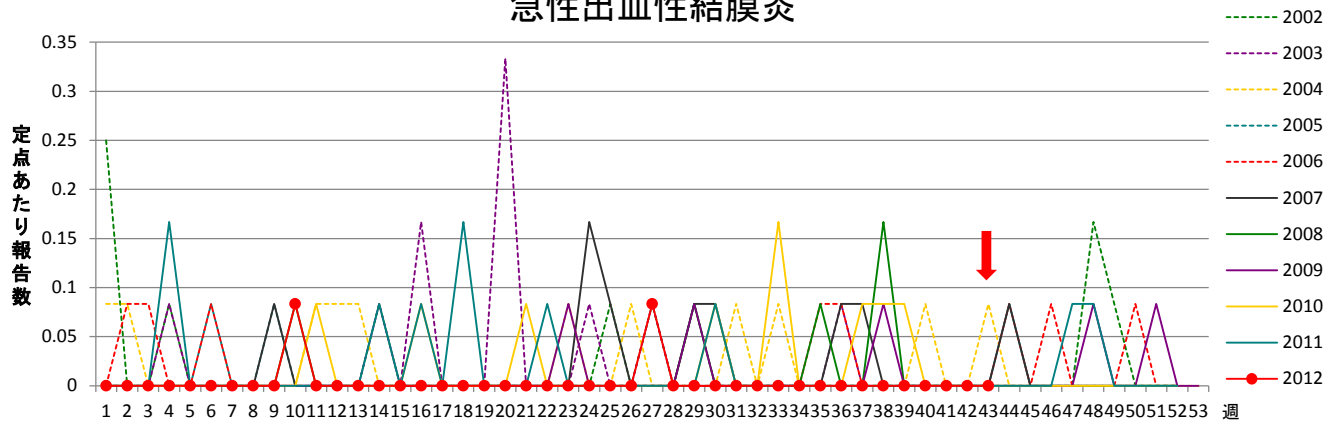
### ヘルパンギーナ



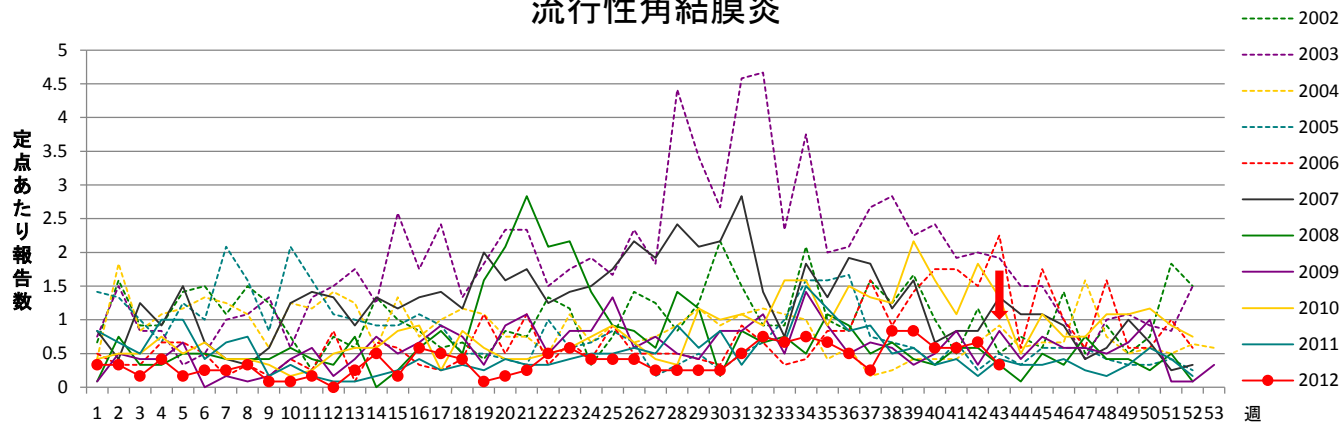
### 流行性耳下腺炎



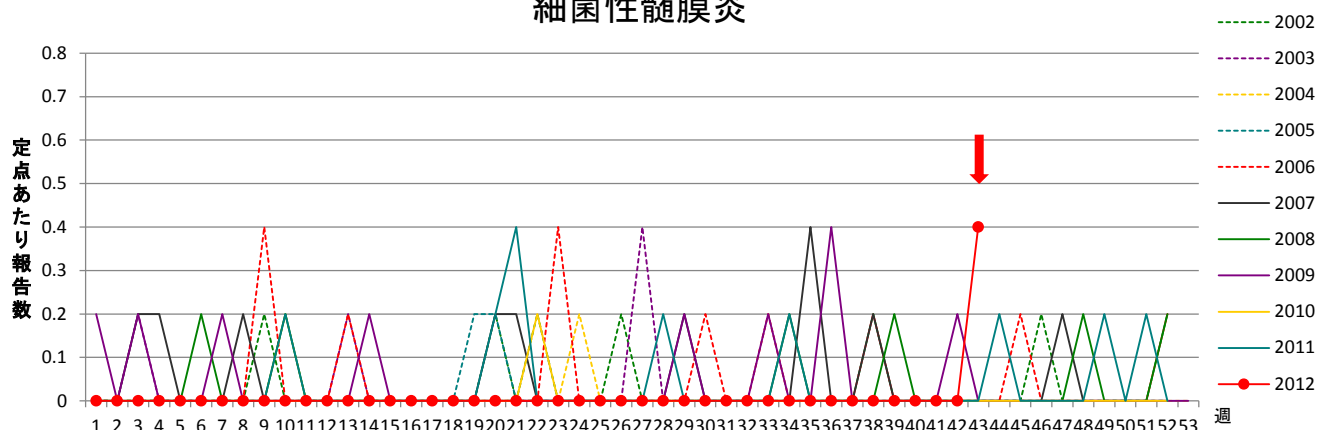
### 急性出血性結膜炎



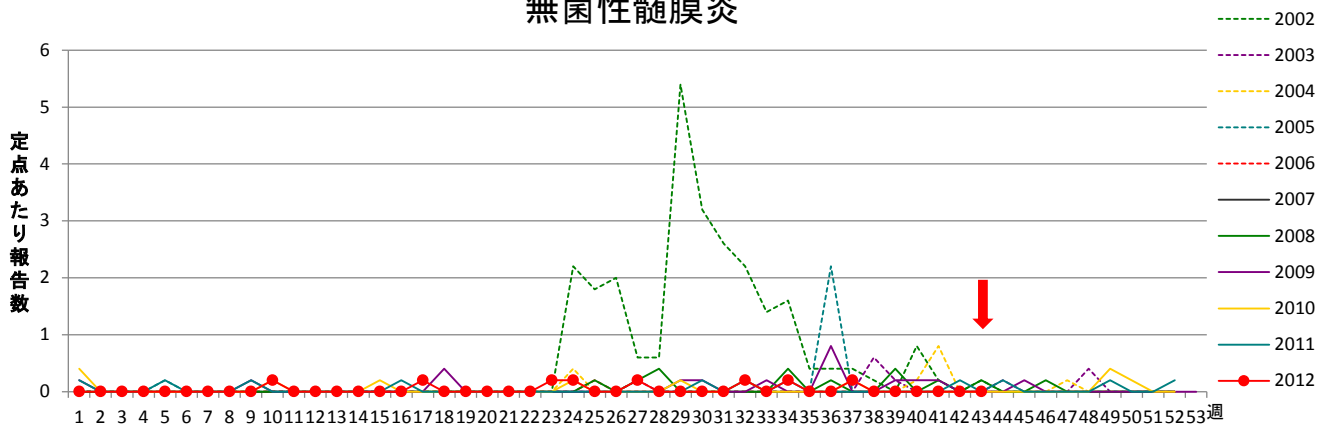
### 流行性角結膜炎



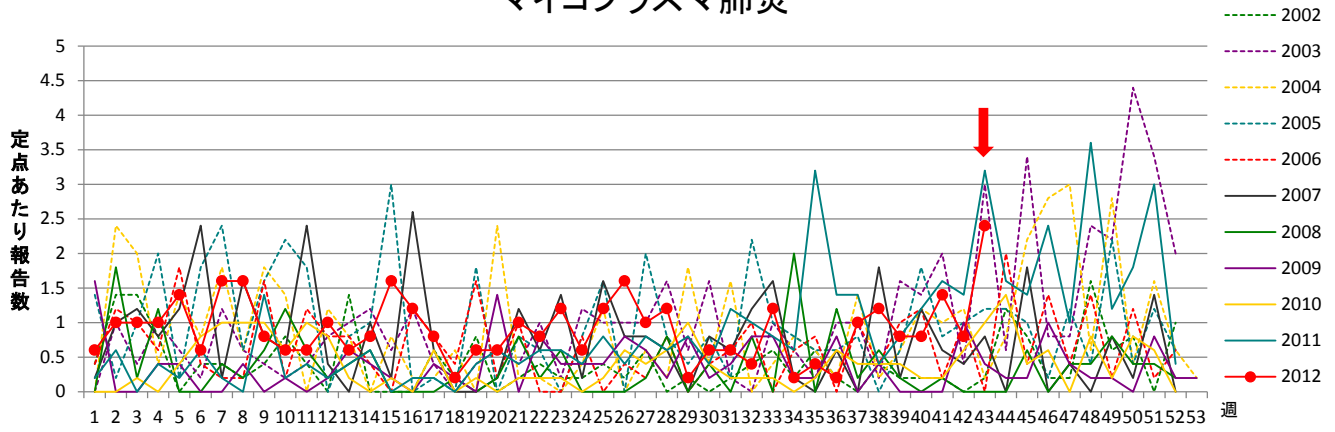
### 細菌性髄膜炎



### 無菌性髄膜炎



### マイコプラズマ肺炎



### クラミジア肺炎

